



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社インバウンドテック 上場取引所 東
コード番号 7031 URL https://www.inboundtech.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 東間 大
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 金子 将之 TEL 03-6274-8400
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,485	3.4	255	△29.8	250	△30.5	155	△35.5
2023年3月期第3四半期	2,404	31.8	363	101.4	360	101.0	241	118.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 154百万円 (△38.9%) 2023年3月期第3四半期 252百万円 (128.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	60.92	58.13
2023年3月期第3四半期	92.27	88.11

(注) 当社は、2022年10月14日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,681	2,615	55.8
2023年3月期	3,981	2,631	52.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 2,056百万円 2023年3月期 2,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,453	4.9	328	△16.7	323	△17.0	210	△17.3	80.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	2,616,600株	2023年3月期	2,614,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	150,114株	2023年3月期	114株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	2,555,067株	2023年3月期3Q	2,614,752株

(注) 当社は、2022年10月14日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド需要は急速な回復を見せておりますが、コロナ禍によって激減したサポートニーズは回復のペースが追いついておらず、マルチリンガルCRM事業における多言語分野に係る業務の受注及び入電数についても増加傾向にあるものの、依然不透明な状況が続いております。一方、コロナ禍による生活様式の変化に伴い、ワクチン接種受付業務などのスポット案件を受注してまいりましたが、緩やかなシュリンクは続いており、その減少分を官公庁や自治体などの公共関連業務の受注に注力することで、当事業全体として成長軌道で推移しております。また、当社グループにおいては、連結子会社である株式会社OmniGridが計画通りの進捗となり、マルチリンガルCRM事業におけるセグメント売上高及び利益に貢献いたしました。

セールスアウトソーシング事業においては、主力業務である東京電力グループとの委託業務が前年度に比べて縮小となり、また、期首から計画しておりました新案件が期待通りの収益計画に至らなかったために撤退したことなどから計画との乖離が生じた一方、大手携帯キャリアの契約切替奨励業務が予想を上回る形で推移したこと及び外注費の圧縮を始めとしたコストコントロールによって利益の確保に努めてまいりました。また、連結子会社である株式会社シー・ワイ・サポートについて、期中より業務内容の見直しによってセールスアウトソーシング事業関連の業務に取り組む形で組織のリニューアルを行っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期と比べ80,709千円増加し2,485,424千円、営業利益は前年同期と比べ108,476千円減少し255,224千円、経常利益は前年同期と比べ109,734千円減少し250,593千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期と比べ85,594千円減少し155,665千円となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。また、各事業分野のセグメント利益は、全社管理部門費用317,673千円を含まない額であります。

	前第3四半期連結 累計期間 (千円)	当第3四半期連結 累計期間 (千円)
売上高	2,404,714	2,485,424
営業利益	363,701	255,224
経常利益	360,328	250,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	241,259	155,665

セグメント別概況

・マルチリンガルCRM事業の概況

マルチリンガルCRM事業におきましては、日本語を含む13カ国語を活用し、外国人と日本人のコミュニケーション問題を解決する多言語・通訳ソリューションを24時間365日体制で提供しております。

今般訪日外国人観光客はコロナ禍以前の水準に戻りつつあり、実需における多言語によるサポートニーズも復調傾向にありますが、当社のビジネスモデルはエンドユーザーからの直接課金ではないため、セグメントにおける業績への貢献については限定的であると認識しております。また、コロナ禍において発生した企業のテレワーク推進による一次受付需要の発生や、ワクチン接種受付業務及び新型コロナウイルス感染者のサポート業務といった利益率の高いスポット案件は緩やかにシュリンクしておりますが、官公庁や自治体などの公共関連業務の受注拡大が続いております。こうした点から、日本語を中心とした国内におけるサポート業務の受託が安定して増加を続ける形となり、売上高においては前年同期比で増加となりましたが、利益面においてはスポット案件の高利益率には及ばず減少となりました。また、当社グループの株式会社OmniGridについては計画通りの進捗となりました。

以上の結果、マルチリンガルCRM事業全体では、売上高は前年同期と比べ11,839千円増加し1,724,773千円、セグメント利益は前年同期と比べ111,671千円減少し419,662千円となりました。

	前第3四半期連結 累計期間 (千円)	当第3四半期連結 累計期間 (千円)
売上高	1,712,933	1,724,773
セグメント利益	531,334	419,662

・セールスアウトソーシング事業の概況

セールスアウトソーシング事業では、主に当社がクライアント企業に代わって見込みユーザーに対してインサイドセールス等を行っております。当第3四半期連結累計期間については、主力業務である東京電力グループとの委託業務が前年度に比べて縮小となり、また、期首から計画しておりました新案件が期待通りの収益計画に至らなかったために撤退したことなどから計画との乖離が生じた一方、大手携帯キャリアの契約切替勧奨業務が予想を上回る形で推移したことから売上高においては前年同期を上回る着地となりました。また、連結子会社である株式会社シー・ワイ・サポートについて、期中より業務内容の見直しによってセールスアウトソーシング事業関連の業務に取り組む形で組織のリニューアルを行っており、セグメント売上高、利益共に貢献しております。しかしながら、利益面においては大手携帯キャリアの契約切替勧奨業務における外注費の増加及び、セグメント利益を牽引している東京電力グループとの委託業務が縮小となったことに連動する形で利益減少などが重なったことで前年同期を割り込む結果となりました。

以上の結果、セールスアウトソーシング事業全体では、売上高は前年同期と比べ70,160千円増加し762,758千円、セグメント利益は前年同期と比べ69,637千円減少し153,235千円となりました。

	前第3四半期連結 累計期間（千円）	当第3四半期連結 累計期間（千円）
売上高	692,597	762,758
セグメント利益	222,872	153,235

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は現金及び預金の減少及び有形固定資産の取得並びに無形固定資産の償却などにより、前連結会計年度末に比べ300,159千円減少し3,681,089千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ317,498千円減少し2,187,863千円、固定資産は前連結会計年度末に比べ17,338千円増加し1,493,226千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は買掛金、未払法人税等及び長期借入金の減少などにより前連結会計年度末に比べ284,124千円減少し1,065,184千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は利益剰余金の増加及び自己株式の取得などにより前連結会計年度末に比べ16,035千円減少し2,615,905千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績につきましては、2023年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合は速やかに開示いたします。

なお、業績予想発表時に見込んでいた新型コロナウイルス感染症の影響については、2024年3月期末までは続くものと見込んでおりますが、業績への影響は現時点において軽微であると判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,044,597	1,755,100
売掛金	412,504	384,524
その他	48,479	48,438
貸倒引当金	△220	△200
流動資産合計	2,505,361	2,187,863
固定資産		
有形固定資産	82,084	140,401
無形固定資産		
のれん	718,704	651,897
顧客関連資産	358,750	328,000
その他	175,367	186,228
無形固定資産合計	1,252,822	1,166,126
投資その他の資産	140,980	186,698
固定資産合計	1,475,887	1,493,226
資産合計	3,981,249	3,681,089
負債の部		
流動負債		
買掛金	191,646	95,203
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	144,000	144,000
未払法人税等	86,675	20,970
賞与引当金	3,054	180
その他	226,916	215,806
流動負債合計	952,293	776,160
固定負債		
長期借入金	396,000	288,000
資産除去債務	1,015	1,023
固定負債合計	397,015	289,023
負債合計	1,349,308	1,065,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,367	547,696
資本剰余金	584,031	582,784
利益剰余金	959,829	1,115,495
自己株式	△166	△189,658
株主資本合計	2,091,063	2,056,317
新株予約権	12,443	17,664
非支配株主持分	528,434	541,924
純資産合計	2,631,941	2,615,905
負債純資産合計	3,981,249	3,681,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,404,714	2,485,424
売上原価	1,641,202	1,811,580
売上総利益	763,512	673,843
販売費及び一般管理費	399,811	418,619
営業利益	363,701	255,224
営業外収益		
受取利息	8	9
雇用調整助成金	—	21
還付加算金	145	34
その他	28	5
営業外収益合計	182	70
営業外費用		
支払利息	3,555	3,065
支払手数料	—	1,635
営業外費用合計	3,555	4,701
経常利益	360,328	250,593
特別損失		
固定資産除却損	—	401
特別損失合計	—	401
税金等調整前四半期純利益	360,328	250,192
法人税、住民税及び事業税	110,232	86,894
法人税等調整額	△2,459	9,066
法人税等合計	107,772	95,960
四半期純利益	252,555	154,232
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11,296	△1,433
親会社株主に帰属する四半期純利益	241,259	155,665

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	252,555	154,232
四半期包括利益	252,555	154,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,259	155,665
非支配株主に係る四半期包括利益	11,296	△1,433

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式150,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が189,491千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が189,658千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,712,117	692,597	2,404,714	—	2,404,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	816	—	816	△816	—
計	1,712,933	692,597	2,405,531	△816	2,404,714
セグメント利益	531,334	222,872	754,206	△390,505	363,701

(注) 1. セグメント利益の調整額△390,505千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,722,665	762,758	2,485,424	—	2,485,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,107	—	2,107	△2,107	—
計	1,724,773	762,758	2,487,531	△2,107	2,485,424
セグメント利益	419,662	153,235	572,897	△317,673	255,224

(注) 1. セグメント利益の調整額△317,673千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。